

### Ⅲ. 施策体系

<b>基本理念</b>	すべての子どもの人権が尊重され、健やかに育ち、社会全体で子育て家庭を支え、子どもを愛情深く育むまち・とよなか
<b>施策の柱1</b>	<b>子育て支援</b>
	<p><b>1-1 保育及び教育環境の充実</b> 就学前の学校教育・保育の質の向上、学校教育の充実など</p> <p><b>1-2 多様な人との交流及び様々な体験をすることができる機会の提供</b> 子どもの多様な活動機会や社会参加の充実など</p> <p><b>1-3 子どもの居場所づくり</b> 安心して遊びや学習ができる子どもの居場所づくりなど</p> <p><b>1-4 子どもの悩みや不安に対する相談及び支援</b> 子どもの悩みや不安の解消に向けた情報提供・相談支援、児童虐待の防止など</p>
<b>施策の柱2</b>	<b>子育て支援</b>
	<p><b>2-1 地域の子育て環境の整備</b> 地域子育て・子育て支援のネットワークづくり、地域教育力の向上など</p> <p><b>2-2 子育てに必要な情報提供等</b> 利用者支援、子育てに必要な情報提供の充実、家庭教育支援など</p> <p><b>2-3 保護者の悩みや不安に対する相談及び支援</b> 保護者の悩みや不安に対する相談支援、多様な子育て支援など</p> <p><b>2-4 子育てと仕事の両立の推進</b> 多様な保育サービスの提供、ワーク・ライフ・バランス★の推進など</p>
<b>施策の柱3</b>	<b>安心・安全なまちづくり</b>
	<p><b>3-1 生活環境、保健・医療体制等の整備</b> 子育て・子育てにやさしい生活環境整備、母子保健事業の充実など</p> <p><b>3-2 子どもの安全確保</b> 防犯・防災体制の充実、交通安全活動の推進など</p>
<b>重点施策</b>	<p>1 ひろめよう、それぞれの居場所～子どもの居場所づくり～</p> <p>2 みんなで寄り添う、健やかな育ち～一人ひとりの育ちにあわせた相談支援～</p> <p>3 だれもが安心、つながる支援～必要な支援を届ける環境づくり～</p>

★は資料編「用語の解説」をご覧ください。

# 子ども健やか育み条例に基づく取組み

## こどもまんなかの取組み

### こどもまんなか応援サポーター宣言

豊中市では、こども家庭庁が推進する「こどもまんなか\*」の主旨に共感・賛同し、長内繁樹市長が令和5年7月に「こどもまんなか応援サポーター\*」に就任し、「こどもまんなか応援サポーター宣言」を行いました。子どもの意見を日常生活や施策に反映できるよう、子ども本人の意見を言える場の確保や「こどもまんなか」に子育て・子育てのための施策を進めていくことを宣言しました。令和5年度は「こどもまんなかアクション」として、「こどもまんなかフォーラム@とよなか」(p.7)の開催、子ども健やか育み条例出前講座(p.6)・子どもヒアリング(p.7)、とよなか子育て応援団スマイルフォトキャンペーン(p.35)を実施しました(詳細は報告書内の各項目に記載)。



## 条例を知ってもらうための取組み

### 子ども健やか育み条例 子ども向けパンフレットの配布、小・中学校向け出前講座【こども政策課】



子ども向けパンフレット

平成25年(2013年)4月に制定された子ども健やか育み条例の子どもへの周知をはかるとともに、子どもの人権に関する子どもの理解を深める機会とすることを目的に、子ども向けパンフレットを作成し、講座開催時や市内の小学4年生に毎年パンフレットを配布しています。

また市内の小・中学校・義務教育学校で子ども健やか育み条例や子どもの人権に関わる内容をテーマにした出前講座を実施しています。令和5年度(2023年度)は「ひとりひとりのもちあじ」「なぜいじめはいけないのか」「多様な性のあり方」などをテーマに、小学校15校、中学校4校で実施し、合計2,909人の児童・生徒が参加しました。



出前講座の様子

★は資料編「用語の解説」をご覧ください。

児童・生徒からは、「一人一人が大切であること、みんな違って当たり前でそれがもちあじなのだ」と強く感じた」、「性の多様性について教えてもらったことで、人を傷つけるつもりがなくても相手が傷ついているかもしれないから、相手のことをきちんと知ろうと思いました」といった感想がありました。

平成 26 年度（2014 年度）からスタートした小・中学校向け出前講座は、3 校延べ 392 人の受講でスタートし、条例施行 10 周年となる令和 5 年度（2023 年度）までの合計で延べ 127 校 20,355 人の児童・生徒が自分の権利を大切にするとともに、まわりの他の人の権利も大切にすることなどを学びました。

## 子どもの社会参加の促進

子ども健やか育み条例に基づき、子どもたちの声を大切にしながら、子育て・子育てに関する取り組みを進めています。豊中市子育て・子育て支援行動計画策定や毎年の事業実施状況などについて、子どもの声を聴く機会を設け、施策に反映しています。

### 子どもヒアリング【こども政策課】

豊中市子育て・子育て支援行動計画「こどもすこやか育みプラン・とよなか」の進行管理の一環として、市職員が学校へ訪問し、子どもに子育て・子育て支援の取組みの概要を説明するとともに、これらに対する意見を聴きました。小学生、中学生、高校生合計 74 人に協力いただき、「悩んだ時の相談先について」や「自分の将来についてのイメージ」など様々な意見をいただきました。



子どもヒアリングの様子  
(上) とヒアリングの内容  
(左 QR コード)

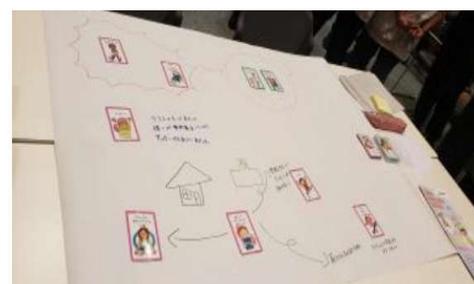
### こどもまんなかフォーラム@とよなか【こども政策課】

豊中市子ども健やか育み条例は、令和 5 年度（2023 年度）で条例制定 10 周年をむかえました。より広く子どもたちから意見を聴くため、「子どもたちから大人の人へ伝えたいこと」をテーマとした座談会「こどもまんなかフォーラム@とよなか」を開催、計 12 人の小中高生が参加しました。

自分の気持ちを表すカードを使いながら、グループごとに話しあい、普段子どもたちが感じていることや、やりたいと思っていること、家族との関わりについてなど様々な意見をいただきました。皆さんからいただいた声を大切にしながら、豊中市では、これからも子どもたちのための様々な取組みを進めていきます。



こどもまんなかフォーラム当日の様子



## 子どものつぶやき展【こども事業課】

就学前施設では、「豊中市人権保育基本方針」に基づき、ひとりひとりの子どもの人権を大切にすることを基本に、豊かな感性を育てお互いを大切にすることを培い、人権尊重の基礎的な資質を養うことをめざした人権教育・保育を進めています。

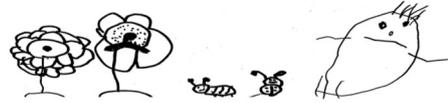
「子どものつぶやき」は、人権教育・保育の中で大切にしてきた取組みの一つです。令和5年度（2023年度）は1月に第二庁舎1階ロビーで「第30回子どものつぶやき展」を開催しました。

子どもたちは、日ごろから友だちや大人と関わって遊び、生活する中で“うれしいこと”“悲しいこと”“驚いたこと”“腹がたつこと”“求めたり望んだりしていること”など様々なことを感じ、表現しています。このような子どもたちの「思い」を表現したものを、言葉だけではなく、しぐさ・動き・表情などを含めて「つぶやき」として捉えています。「つぶやき」を通して、子どもたちの生活や友だちへの「思い」を受け止め共感するとともに、周りの友だちに伝え広げていくことを大切にしてきました。また、子どもの「“まわりの大人への思い”のつぶやき」を通して、大人が改めて子どもの思いに向き合い、教育・保育の振り返りにつなげていきました。

これらのことは、仲間とともに生きる子どもを育み、ひとりひとりの子どもの人権を守ることに繋がっていくものと考えています。

### せんせいはどうなの？ 3歳児

お昼寝前、たつやが保育者と一対一でパジャマに着替えていた、ゆったりとした時間。



たつや たつやくん はなこせんせいのことすきだよ

保育者 はなこせんせいも たつやくんのことすきだよ

たつや たつやくんは たつやくんのこと すきな

保育者 そうなんだね

たつや はなこせんせいは はなこせんせいのこと すき？

「せんせいのこと すきだよ」「せんせいも すきだよ」は、いろいろな子とよくするやり取りですが、その続きは珍しく、とても驚きました。

たつやにとっては何気ないやり取りだったと思いますが、大人としては自己肯定感の高さや深い問いかけが、とても印象に残りました。



園での掲示の様子



つぶやき展の様子